

AI コミュニケーション・IT ビジネス学科

1 年生

1 組

2025年度 後期

(講義)		科目名:キャリアデザインⅡ(入門)		講師:室山俊浩	
科目概要		キャリアデザインⅡは、Ⅰにひき続き、日本で働くために必要な知識を身につけることを目指す。			
学習目標		日本での仕事をよく理解したうえ、学生が自身のキャリアについての基本的な理解を深め、将来の職業選択に向けた準備を始めることを目的とします。			
教科書		プリントなどを配布します			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション / 日本で働くために必要な知識①		
		第2回	日本で働くために必要な知識②		
		第3回	日本で働くために必要な知識③		
		第4回	日本で働くために必要な知識④		
		第5回	日本で働くために必要な知識⑤		
		第6回	日本で働くために必要な知識⑥		
		第7回	日本で働くために必要な知識⑦		
		第8回	日本で働くために必要な知識⑧		
		第9回	日本で働くために必要な知識⑨		
		第10回	日本で働くために必要な知識⑩		
		第11回	日本で働くために必要な知識⑪		
		第12回	日本で働くために必要な知識⑫		
		第13回	日本で働くために必要な知識⑬		
		第14回	日本で働くために必要な知識⑭		
		第15回	日本で働くために必要な知識⑮		
		第16回	日本で働くために必要な知識⑯		
		第17回	日本で働くために必要な知識⑰		
	第18回	日本で働くために必要な知識⑱			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもつてくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

(講義)	科目名:マーチャンダイジング		講師:岡野純司
科目概要	マーチャンダイジングの基本、販売計画、仕入計画など基礎となる内容を学んだ上で、商品管理、価格設定、物流、情報通信技術の活用など具体的なことを学ぶ。		
学習目標	市場や顧客の動向を捉え、マーチャンダイジング・サイクルを立案・実施する手法を身につけ、「リテールマーケティング検定試験(販売士)」3級合格を目指す。		
教科書			
授業計画	回数	授業内容	
	第1回	マーチャンダイジングの基本①:5つの適正と標的顧客	
	第2回	マーチャンダイジングの基本②:商品構成の基本	
	第3回	マーチャンダイジングの基本③:マーチャンダイジングサイクル	
	第4回	販売計画の基本①:販売計画とインスタ・マーチャンダイジング	
	第5回	販売計画の基本②:インスタ・プロモーションとVMD	
	第6回	仕入計画①:マーチャンダイジングと仕入計画	
	第7回	仕入計画②:発注サイクルと発注リードタイム	
	第8回	商品管理①:金額管理と数量管理、ABC分析	
	第9回	商品管理②:売れ筋・死に筋商品	
	第10回	在庫管理	
	第11回	価格設定の基本	
	第12回	平均値入額の計算	
	第13回	物流の基本	
	第14回	物流の効率化	
	第15回	POSシステム	
	第16回	バーコードとRFID	
	第17回	EDI	
	第18回	まとめ	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	40点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	20点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

2025年度 後期

2025年度 後期					
(講義)		科目名：SNS II		講師：若林 優哉	
科目概要		この講座では、スマホ動画編集アプリ「CapCut」を中心に、企画・撮影・編集・投稿・分析の一連の流れを通じて、SNS動画制作の実践スキルを身につけます。			
学習目標		短尺動画（ショート・リール・TikTok）を題材に、2025年の最新トレンドである「縦型動画」「自然体コンテンツ」「UGC」「AI字幕」「音源トレンド」などを取り入れ、企画できて、作れて、数字を読める” クリエイターを育成します。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション／動画の力を知る		
		第2回	縦型動画の構造と設計		
		第3回	CapCutの基本操作①		
		第4回	CapCutの基本操作②		
		第5回	構成とストーリーボード演習		
		第6回	撮影実習①（スマホ撮影基礎）		
		第7回	テロップ・BGM・音声編集		
		第8回	効果音・トランジション演出		
		第9回	中間発表（1本目動画）		
		第10回	トレンド音源とリズム編集		
		第11回	AI自動字幕／AIナレーション		
		第12回	テンプレート活用とブランド化		
		第13回	UGC×自然体動画の演出		
		第14回	SNS投稿とパフォーマンス分析		
		第15回	改善演習：データからの再編集		
		第16回	動画広告・リール活用応用		
		第17回	最終発表・講評		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	50点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	20点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもつてくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

2025年度 後期

(講義)		科目名：画像・動画編集Ⅱ	講師：若林 優哉
科目概要	この講座では、スマホ動画編集アプリ「CapCut」を中心に、企画・撮影・編集・投稿・分析の一連の流れを通じて、SNS動画制作の実践スキルを身につけます。		
学習目標	短尺動画（ショート・リール・TikTok）を題材に、2025年の最新トレンドである「縦型動画」「自然体コンテンツ」「UGC」「AI字幕」「音源トレンド」などを取り入れ、企画できて、作れて、数字を読める”クリエイターを育成します。		
教科書			
授業計画	授業	回数	授業内容
		第1回	オリエンテーション／バナーの役割とは
		第2回	デザインの4原則と構図設計
		第3回	配色理論とフォント選定
		第4回	Canva操作応用／画像サイズと比率
		第5回	Instagram向けデザイン①（投稿）
		第6回	Instagram向けデザイン②（ストーリーズ）
		第7回	X（旧Twitter）用デザイン
		第8回	TikTok／リール動画サムネ制作
		第9回	LINE広告・カルーセル広告
		第10回	Web用ヘッダー・GDN広告バナー
		第11回	CTA（行動喚起）コピーと配置演習
		第12回	AIツール活用（Canva Magic Studio）
		第13回	ブランド別トーン統一演習
		第14回	A/Bテストを意識したデザイン改善
		第15回	SNSキャンペーン素材制作
		第16回	プレゼン資料作成（Canva＋Figma）
		第17回	最終発表・講評
		第18回	試験対策
	試験	第19回	期末試験
成績評価	出席率	30点	
	期末試験	50点	
	授業内評価	20点	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるの	

2025年度 後期

2025年度 後期				
(講義)		科目名:WebサイトⅡ		講師:若林 優哉
科目概要		この講座では、WEB集客の基本的な仕組みを理解しながら、データ分析を中心に「数字で語れるマーケター」を育成します。 アクセス解析(GA4)、広告データ(Meta／Google)、ヒートマップ、SEOレポートなどを題材に、「なぜ集客できないのか」「どの施策を改善すべきか」をデータで発見し、改善提案を導くスキルを習得します。		
学習目標		STUDIOやCanvaで作成したサイトを題材に、分析→仮説→改善→再テストというPDCA型のマーケティング実践を行い、最終的に「自分で設計し、数字で検証できるマーケター／デザイナー」を目指します。		
教科書				
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	オリエンテーション:データドリブンとは	
		第2回	ターゲット・カスタマージャーニー分析	
		第3回	WEB集客の全体構造とKPI設計	
		第4回	Google Analytics 4の仕組み	
		第5回	GA4の基本操作①(リアルタイム・探索)	
		第6回	STUDIOで1ページ構成を実装	
		第7回	GA4の基本操作②(コンバージョン設定)	
		第8回	SEOデータ分析(Search Console)	
		第9回	SNS分析(Instagram / X / TikTok)	
		第10回	広告データの構造理解	
		第11回	中間発表:自ブランド分析	
		第12回	LP改善のためのヒートマップ分析	
		第13回	A/Bテストの設計	
		第14回	Looker Studio(旧Data Portal)入門	
		第15回	KPIダッシュボード設計演習	
		第16回	改善提案書の作成	
		第17回	成果発表資料づくり	
	第18回	試験対策		
	試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期末試験	50点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授業内評価	20点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。		

2025年度 後期

2025年度 後期		(講義)		科目名:人間関係の心理学Ⅱ		講師: 木村 洋太	
科目概要		本科目では、前期に引き続き、のおける心理的メカニズムについて学習します。特に、対人援助のためのコミュニケーションを学びます。そのため、まずは学校でも職場でも頻繁に問題となる様々な心の病気や、発達上の問題について理解を深めます。その上で、どのように対応するのか、どのようなコミュニケーションが援助にとって有用なのか考えます					
学習目標		・人間関係に関する基礎的な心理学理論を理解し、説明することができる ・現代社会で特に問題となる心の病気や発達の障害について、正しい理解をする ・職場や学校等様々な場面での対人関係の課題について、適切なかかわり方を知る					
				プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容				
		第1回	発達障害とは何か				
		第2回	LDの理解と対応				
		第3回	LDによる2次障害				
		第4回	ASDの理解1(自閉スペクトラム症)				
		第5回	ASDの理解2(自閉スペクトラム症)				
		第6回	ASDの実際(ドキュメンタリー視聴)				
		第7回	ADHDの理解と対応				
		第8回	ADHDの実際				
		第9回	きつ音の理解と対応				
		第10回	チック・トゥレットの理解と対応				
		第11回	中間テスト				
		第12回	IL1(知的障害の理解と対応)				
		第13回	IL2(知的障害の理解と対応)				
		第14回	適応障害・うつ病の理解と対応				
		第15回	境界性 人格障害				
		第16回	記憶障害				
		第17回	カウンセリングマインド				
	第18回	期末試験の準備					
		試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。				
	期 末 試 験	52点	中間テストと期末テスト、2回のテストを行います。				
	授 業 内 評 価	18点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。				
備考			①遅刻・欠席をしないこと。				
			②筆記具を必ずもつてくること。				
			③指定された座席で受講すること。				
			④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。				
			以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。				

2025年度 後期

(講義)		科目名:オフィスソフトⅡ		講師:高橋 直子	
科目概要		この科目では、Microsoft Excel(表計算)の基本操作を学びます。簡単な計算、関数、グラフおよび表を作成します。初心者レベルを対象としており、実践的な演習を通じてスキルの定着を目指します。			
学習目標		Microsoft Excelの基本的な操作を理解し、実践できるようになる。 関数や数式を活用し、効果的なデータ処理ができる。 グラフを使ってデータを視覚的に表現できる。			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	Excelの基本操作		
		第2回	データ入力と書式設定		
		第3回	基本的な計算		
		第4回	関数の基礎①(合計など)		
		第5回	関数の基礎②(平均・最大・最小など)		
		第6回	ここまでの復習		
		第7回	割合と絶対参照について		
		第8回	グラフの作成		
		第9回	グラフの作成の復習		
		第10回	関数の応用①(条件:IF関数)		
		第11回	関数の応用②(個数を求める)		
		第12回	ここまでの復習		
		第13回	作表の応用		
		第14回	総復習①		
		第15回	総復習②		
		第16回	総復習③		
		第17回	総復習④		
	第18回	試験対策			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

2025年度 後期

(講義)		科目名:IT ストラテジーⅡ		講師:酒井克実	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のストラテジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のストラテジー分野に関する知識を理解し、実務や試験に役に立つ基礎を身につける。経営戦略などに関する重要な概念を把握し、実践力を養う。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	前期の復習		
		第2回	知的財産権		
		第3回	個人情報保護		
		第4回	セキュリティ法規		
		第5回	標準化		
		第6回	経営戦略①		
		第7回	経営戦略②		
		第8回	経営戦略③		
		第9回	マーケティング戦略		
		第10回	MOT		
		第11回	小テスト		
		第12回	社会を支えるITシステム		
		第13回	IoT		
		第14回	ITとこれからの社会		
		第15回	電子商取引		
		第16回	会社全体の生産性を高めるためには		
		第17回	システム開発をめぐる動き		
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	20点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	50点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもつてくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

2025年度 後期

2025年度（後期）					
(講義)		科目名:WebデザインⅡ		講師:保田涼佑	
科目概要		本授業では、Web制作に必要なHTMLとCSSの基礎から応用までを学びます。基本的な文法や構造、CSSのスタイリングの習得を目指します。			
学習目標		HTMLとCSSの基本文法を理解し、正確にコーディングできるようになる。 Webページのレイアウトやデザインを適切に構築できるようになる。			
教科書		なし			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンスとWebの仕組み		
		第2回	HTMLの基本構造		
		第3回	テキスト要素と見出しの使い方		
		第4回	リストとリンクの作成		
		第5回	画像とメディアの挿入		
		第6回	表の作成		
		第7回	フォーム作成の基本		
		第8回	CSSの基本		
		第9回	テキストスタイリング		
		第10回	ボックスモデルの理解		
		第11回	背景デザインと色彩の設定		
		第12回	基本レイアウト(フロートを使用したレイアウト)		
		第13回	フレックスボックスの導入		
		第14回	簡単なWebページ制作演習		
		第15回	HTML5の新しい要素		
		第16回	モジュール化とCSSの再利用性		
		第17回	後期まとめ演習		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

2025年度 後期

(講義)		科目名:AI活用法Ⅱ		講師:酒井克実	
科目概要		現代において不可欠なツールとなりつつあるAI(人工知能)の基礎知識を学び、実践的な活用方法を習得します。AIの基本的な概念から始まり、ビジネスや学習、日常生活での具体的な活用方法まで、幅広く学習します。			
学習目標		この授業を通じて、AI技術を効果的に活用し、生産性向上やクリエイティブな問題解決に応用できる実践力を養うことを目指します。AIを使いこなすための基礎的な知識とスキルを習得することで、デジタル社会で必要とされる人材となることを目指します。			
教科書		プリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション:AIとは何か		
		第2回	生成AIのしくみ		
		第3回	AIで文章を作る(1)		
		第4回	AIで文章を作る(2)		
		第5回	わからない言葉を調べる		
		第6回	翻訳をする		
		第7回	学校・仕事での活用		
		第8回	プレゼン資料を作る		
		第9回	画像生成AIの体験(1)		
		第10回	画像生成AIの体験(2)		
		第11回	AI検索エンジンを使う		
		第12回	ゲームを作る		
		第13回	AIと情報の安全		
		第14回	AIの活用事例(1)		
		第15回	AIの活用事例(2)		
		第16回	著作権とルール		
		第17回	AIの未来とリスク		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	20点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	50点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

(講義)	科目名:企業研究 I		講師:徐誠敏
科目概要	日本企業への理解や知識を深めるとともに企業研究の力を身につけることを目的とします。学生が企業の構造、業界動向、企業文化を理解し、就職活動やインターンシップに向けて効果的に自己PRや企業分析を行える力を養うことを目的とします。企業の基本的な特徴や業界の動向、企業研究の方法を学びます。		
学習目標	・関心のある業界や企業に関する情報力と知識を高める。 ・ビジネス的な視点で物事を捉える能力を向上させる。 ・就職力を高めるためのコミュニケーション能力を高める。		
教科書		プリントなどを配布します。	
授業計画	回数	授 業 内 容	
	第1回	イントロダクション(企業研究の目的と重要性、授業の進め方)	
	第2回	自己紹介文の作成	
	第3回	作成した自己紹介文の発表	
	第4回	働く意義と意味	
	第5回	日本企業の一般的特徴	
	第6回	日本企業の組織文化	
	第7回	日本企業のコミュニケーションスタイル	
	第8回	良い企業の定義と条件 I	
	第9回	良い企業の定義と条件 II	
	第10回	選ばれる人と選ばれない人との違い	
	第11回	自分の価値観を知り、自分に合う業界・企業を考える I	
	第12回	自分の価値観を知り、自分に合う業界・企業を考える II	
	第13回	魅力的自己 PRの書き方	
	第14回	学生時代に力を入れたことの書き方	
	第15回	履歴書作成	
	第16回	面接対策 I	
	第17回	面接対策 II	
	第18回	総括と復習	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

2025年度 後期

(講義)		科目名:ITテクノロジーⅡ		講師:伊東 秀幸	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のテクノロジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のテクノロジー分野に関する基本的な知識を理解し、試験に対応できる力を養う。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの重要な技術概念を把握し、日常の業務や試験問題で活用できるようにする。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	前期の復習		
		第2回	技術要素その1 情報デザイン		
		第3回	技術要素その2 ヒューマンインタフェース		
		第4回	技術要素その3 インタフェース設計		
		第5回	技術要素その4 マルチメディア技術		
		第6回	技術要素その5 マルチメディア応用		
		第7回	技術要素その6 データベース方式		
		第8回	技術要素その7 データベース設計		
		第9回	技術要素その8 データ操作		
		第10回	技術要素その9 トランザクション処理		
		第11回	技術要素その10 ネットワーク方式		
		第12回	技術要素その11 通信プロトコル		
		第13回	技術要素その12 ネットワーク応用		
		第14回	技術要素その13 情報セキュリティ		
		第15回	技術要素その14 情報セキュリティ管理		
		第16回	技術要素その15 情報セキュリティ対策		
		第17回	技術要素その16 情報セキュリティ実装技術		
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は、1回分に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の得点を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどが優れていると、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ず持って来ること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係がない動作をしないこと。			
		以上のルールに従わない場合は、厳しく対応する（欠席として扱うこともあり、注意すること）			

AI コミュニケーション・IT ビジネス学科

1 年生

2 組

2025年度 後期

(講義)		科目名: SNS II		講師: 小川実花	
科目概要		現代社会で重要な役割を果たすSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)について、基礎的な知識から特定のSNSにて実践的な活用方法まで学習します。 主要なSNSプラットフォームの特徴や機能、利用者の行動パターンなどについて理解を深め、SNSが社会、文化、コミュニケーションに与える影響を多角的に研究します。			
学習目標		・主要なSNSプラットフォームの特徴と機能について理解し、適切に使い分けができる ・使用するSNSのアルゴリズムや分析ツールについて理解し、基本的な運用データの解析ができる ・SNSを活用したコミュニケーション戦略を立案し、実践することができる			
教科書		授業でプリントなど配布します			
授業計画	業授	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション:前期の振り返り/授業の進め方、学習目標の確認		
		第2回	YouTubeの特徴・アルゴリズム		
		第3回	YouTubeジャンル研究とターゲット分析		
		第4回	SEOの基本:タイトル・説明文・タグ / 学生アカウント作成、限定公開設定		
		第5回	YouTubeの使い方や仕組み / サムネイルとクリック率		
		第6回	YouTube Shorts戦略		
		第7回	拡散の仕組みと限定公開の違い		
		第8回	YouTube広告の仕組み		
		第9回	インフルエンサーとプロモーション		
		第10回	コメント・視聴者との関係性		
		第11回	YouTube Studioの基本		
		第12回	データ分析演習①		
		第13回	データ分析演習②		
		第14回	改善策を考えるワーク①		
		第15回	改善策を考えるワーク②		
		第16回	プロジェクト演習① キャンペーン企画		
		第17回	プロジェクト演習② 発表・講評		
		第18回	前期リフレクション・フォロー、期末試験準備		
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

2025年度 後期		(講義)		科目名:画像・動画編集Ⅱ		講師: 小川実花	
科目概要		本科目では、デジタル時代に必須となる画像・動画編集の基礎から実践的なテクニックまでを学びます。画像・動画編集に関するソフトウェアの操作方法を習得し、写真の補正・加工から、動画の編集・エフェクト付与まで学習します。					
学習目標		・Clipchampを活用し、動画編集の基礎的操作から応用的技法まで体系的に習得する。 ・YouTubeをはじめとするデジタルプラットフォームに適した短尺動画を企画・制作できる能力を養成する。 ・Webサイトや広告媒体に応用可能なデザインコンテンツを創出するスキルを修得する。					
教科書				授業でプリントなど配布します。			
授業計画	業授	回数	授 業 内 容				
		第1回	オリエンテーション:前期の振り返り / 授業の進め方、学習目標の確認				
		第2回	動画編集の基礎①(Clipchamp入門)Clipchampの基本操作、インターフェース理解、メディアの取り込み。				
		第3回	動画編集の基礎②(カット編集とタイムライン操作)映像の切り出し・並べ替え、トリミングとシーン構成の基礎。				
		第4回	テロップ・字幕の作成基本的なテキスト挿入、視認性・デザイン性を考慮した配置と装飾。				
		第5回	音声編集とBGMの活用効果音の挿入・調整、著作権に配慮した映像とBGMの選択。				
		第6回	画像素材・エフェクトの活用静止画やアイコンの挿入、トランジションやフィルターの基本。				
		第7回	動画の構成とストーリーボード企画立案、ストーリー設計、ターゲットを意識した構成演習。				
		第8回	ショート動画制作①(基礎)YouTube Shortsを想定した縦型動画編集、短時間で伝える技法。				
		第9回	ショート動画制作②(応用)惹きつける冒頭表現、最後まで見せる工夫、アルゴリズムを考慮した設計。				
		第10回	色調補正とデザイン演習カラー調整、明度・彩度の基礎、デザイン原則を踏まえた映像加工。				
		第11回	効果的なサムネイル制作Webデザインの基礎を応用し、視認性とクリック率を意識したサムネイル作成。				
		第12回	Webサイト掲載用動画の編集レスポンシブデザインを考慮した動画フォーマット、圧縮と書き出し。				
		第13回	広告媒体向け動画制作プロモーション映像の要素、コピーライティングと映像表現の統合。				
		第14回	実践演習①(企画・撮影・編集)テーマに基づいた短尺動画を制作。				
		第15回	実践演習②(編集仕上げとデザイン要素)完成度を高める編集、テロップ・音声・BGM・サムネイル統合。				
		第16回	実践演習②(編集仕上げとデザイン要素)完成度を高める編集、テロップ・音声・BGM・サムネイル統合。				
		第17回	発表・フィードバック				
		第18回	前期リフレクション・フォロー、期末試験準備				
		試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。				
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。				
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。				
備考			①遅刻・欠席をしないこと。				
			②筆記具を必ずもってくること。				
			③指定された座席で受講すること。				
			④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。				
			以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。				

2025年度 後期

(講義)		科目名:キャリアデザインⅡ		講師:姜 美松	
科目概要		キャリアデザインⅡは、就職など各自のキャリア形成につながる学習を行う。まずは就職に向けての日本語能力の向上を目指し学習を行う。また、学生が自らのキャリアを具体的に計画し、実施に移すための知識とスキルを学ぶ。本科目は、自己分析をさらに深め、自身の特長や価値観を明確化するとともに、就職活動やキャリア形成に必要な実践的なスキルを養う。			
学習目標		学生が自身のキャリアについて深く理解し、将来のキャリア形成に向けた実践的な能力を身につけることを目指す。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーションと目標設定		
		第2回	キャリアにおける日本語能力の向上(1)		
		第3回	キャリアにおける日本語能力の向上(2)		
		第4回	キャリアにおける日本語能力の向上(3)		
		第5回	キャリアにおける日本語能力の向上(4)		
		第6回	キャリアにおける日本語能力の向上(5)		
		第7回	就職活動の流れ		
		第8回	自己分析(1)		
		第9回	自己分析(2)		
		第10回	キャリア目標の設定(1)		
		第11回	キャリア目標の設定(2)		
		第12回	業界・企業研究の方法(1)		
		第13回	業界・企業研究の方法(2)		
		第14回	履歴書の作成と注意点(1)		
		第15回	履歴書の作成と注意点(2)		
		第16回	面接の基本とマナー(1)		
		第17回	面接の基本とマナー(2)		
	第18回	まとめ			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもつてくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

(講義)		科目名:オフィスソフトⅡ		講師:高橋 直子	
科目概要		この科目では、Microsoft Excel(表計算)の基本操作を学びます。簡単な計算、関数、グラフおよび表を作成します。初心者レベルを対象としており、実践的な演習を通じてスキルの定着を目指します。			
学習目標		Microsoft Excelの基本的な操作を理解し、実践できるようになる。 関数や数式を活用し、効果的なデータ処理ができる。 グラフを使ってデータを視覚的に表現できる。			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	Excelの基本操作		
		第2回	データ入力と書式設定		
		第3回	基本的な計算		
		第4回	関数の基礎①(合計など)		
		第5回	関数の基礎②(平均・最大・最小など)		
		第6回	ここまでの復習		
		第7回	割合と絶対参照について		
		第8回	グラフの作成		
		第9回	グラフの作成の復習		
		第10回	関数の応用①(条件:IF関数)		
		第11回	関数の応用②(個数を求める)		
		第12回	ここまでの復習		
		第13回	作表の応用		
		第14回	総復習①		
		第15回	総復習②		
		第16回	総復習③		
		第17回	総復習④		
	第18回	試験対策			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

(講義)		科目名:人間関係の心理学Ⅱ		講師: 木村 洋太	
科目概要		本科目では、前期に引き続き、のおける心理的メカニズムについて学習します。特に、対人援助のためのコミュニケーションを学びます。そのため、まずは学校でも職場でも頻繁に問題となる様々な心の病気や、発達上の問題について理解を深めます。その上で、どのように対応するのか、どのようなコミュニケーションが援助にとって有用なのか考えます			
学習目標		・人間関係に関する基礎的な心理学理論を理解し、説明することができる ・現代社会で特に問題となる心の病気や発達の障害について、正しい理解をする ・職場や学校等様々な場面での対人関係の課題について、適切なかわり方を知る			
		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	発達障害とは何か		
		第2回	LDの理解と対応		
		第3回	LDによる2次障害		
		第4回	ASDの理解1(自閉スペクトラム症)		
		第5回	ASDの理解2(自閉スペクトラム症)		
		第6回	ASDの実際(ドキュメンタリー視聴)		
		第7回	ADHDの理解と対応		
		第8回	ADHDの実際		
		第9回	きつ音の理解と対応		
		第10回	チック・トゥレットの理解と対応		
		第11回	中間テスト		
		第12回	IL1(知的障害の理解と対応)		
		第13回	IL2(知的障害の理解と対応)		
		第14回	適応障害・うつ病の理解と対応		
		第15回	境界性 人格障害		
		第16回	記憶障害		
		第17回	カウンセリングマインド		
	第18回	期末試験の準備			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	52点	中間テストと期末テスト、2回のテストを行います。		
	授 業 内 評 価	18点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

(講義)	科目名:マーチャндаイジグ		講師:姜 美松
科目概要	商品の基本知識、マーチャндаイジグの基本など、基礎となる内容を学んだ上で、商品計画や仕入計画、在庫管理、販売管理、価格設定など具体的なことから学ぶ。また、最終的な企業の目標である利益追求について学ぶ。		
学習目標	市場や顧客の動向を捉え、商品政策、商品化計画を立案する手法を身につけ、「リテールマーケティング検定試験(販売士)」3級合格を目指す。		
教科書		プリントを配布	
授業計画	回数	授 業 内 容	
	第1回	商品とは	
	第2回	商品の分類	
	第3回	商品の本体要素	
	第4回	マーチャндаイジグの基本的な考え方	
	第5回	コンビニエンスストアのマーチャндаイジグシステム	
	第6回	商品計画の基本知識	
	第7回	販売計画および仕入計画の基本知識	
	第8回	仕入先企業の種類と仕入方法	
	第9回	棚割とディスプレイの基本知識	
	第10回	発注と物流の基本知識	
	第11回	価格の設定要因と価格政策	
	第12回	売価設定と利益の構造	
	第13回	値入と粗利益の関係	
	第14回	売価決定計算法	
	第15回	在庫管理の基本知識	
	第16回	データによる在庫管理	
	第17回	販売管理の基本知識	
	第18回	POSシステムによる販売データの活用	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期 末 試 験	50点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授 業 内 評 価	20点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもって来ること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

2025年度 後期

(講義)		科目名:WebデザインⅡ		講師:保田涼佑	
科目概要		本授業では、Web制作に必要なHTMLとCSSの基礎から応用までを学びます。基本的な文法や構造、CSSのスタイリングの習得を目指します。			
学習目標		HTMLとCSSの基本文法を理解し、正確にコーディングできるようになる。 Webページのレイアウトやデザインを適切に構築できるようになる。			
教科書		なし			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンスとWebの仕組み		
		第2回	HTMLの基本構造		
		第3回	テキスト要素と見出しの使い方		
		第4回	リストとリンクの作成		
		第5回	画像とメディアの挿入		
		第6回	表の作成		
		第7回	フォーム作成の基本		
		第8回	CSSの基本		
		第9回	テキストスタイリング		
		第10回	ボックスモデルの理解		
		第11回	背景デザインと色彩の設定		
		第12回	基本レイアウト(フロートを使用したレイアウト)		
		第13回	フレックスボックスの導入		
		第14回	簡単なWebページ制作演習		
		第15回	HTML5の新しい要素		
		第16回	モジュール化とCSSの再利用性		
		第17回	後期まとめ演習		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

2025年度 後期

(講義)		科目名:AI活用法Ⅱ		講師:酒井克実	
科目概要		現代において不可欠なツールとなりつつあるAI(人工知能)の基礎知識を学び、実践的な活用方法を習得します。AIの基本的な概念から始まり、ビジネスや学習、日常生活での具体的な活用方法まで、幅広く学習します。			
学習目標		この授業を通じて、AI技術を効果的に活用し、生産性向上やクリエイティブな問題解決に応用できる実践力を養うことを目指します。AIを使いこなすための基礎的な知識とスキルを習得することで、デジタル社会で必要とされる人材となることを目指します。			
教科書		プリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション:AIとは何か		
		第2回	生成AIのしくみ		
		第3回	AIで文章を作る(1)		
		第4回	AIで文章を作る(2)		
		第5回	わからない言葉を調べる		
		第6回	翻訳をする		
		第7回	学校・仕事での活用		
		第8回	プレゼン資料を作る		
		第9回	画像生成AIの体験(1)		
		第10回	画像生成AIの体験(2)		
		第11回	AI検索エンジンを使う		
		第12回	ゲームを作る		
		第13回	AIと情報の安全		
		第14回	AIの活用事例(1)		
		第15回	AIの活用事例(2)		
		第16回	著作権とルール		
		第17回	AIの未来とリスク		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	20点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	50点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもつてくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

2025年度 後期					
(講義)		科目名:IT ストラテジー II			講師:酒井克実
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のストラテジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のストラテジー分野に関する知識を理解し、実務や試験に役に立つ基礎を身につける。経営戦略などに関する重要な概念を把握し、実践力を養う。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	前期の復習		
		第2回	知的財産権		
		第3回	個人情報保護		
		第4回	セキュリティ法規		
		第5回	標準化		
		第6回	経営戦略①		
		第7回	経営戦略②		
		第8回	経営戦略③		
		第9回	マーケティング戦略		
		第10回	MOT		
		第11回	小テスト		
		第12回	社会を支えるITシステム		
		第13回	IoT		
		第14回	ITとこれからの社会		
		第15回	電子商取引		
		第16回	会社全体の生産性を高めるためには		
		第17回	システム開発をめぐる動き		
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	20点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	50点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

2025年度 後期

2025年度 後期

(講義)	科目名:企業研究 I		講師:徐誠敏	
科目概要	日本企業への理解や知識を深めるとともに企業研究の力を身につけることを目的とします。学生が企業の構造、業界動向、企業文化を理解し、就職活動やインターンシップにに向けて効果的に自己PRや企業分析を行える力を養うことを目的とします。企業の基本的な特徴や業界の動向、企業研究の方法を学びます。			
学習目標	・関心のある業界や企業に関する情報力と知識を高める。 ・ビジネス的な視点で物事を捉える能力を向上させる。 ・就職力を高めるためのコミュニケーション能力を高める。			
教科書		プリントなどを配布します。		
授業計画	回数	授 業 内 容		
	第1回	イントロダクション(企業研究の目的と重要性、授業の進め方)		
	第2回	自己紹介文の作成		
	第3回	作成した自己紹介文の発表		
	第4回	働く意義と意味		
	第5回	日本企業の一般的特徴		
	第6回	日本企業の組織文化		
	第7回	日本企業のコミュニケーションスタイル		
	第8回	良い企業の定義と条件 I		
	第9回	良 い企 業 の 定 義 と 条 件 II		
	第10回	選ばれる人と選ばれない人との違い		
	第11回	自分の価値観を知り、自分に合う業界・企業を考える I		
	第12回	自分の価値観を知り、自分に合う業界・企業を考える II		
	第13回	魅力的自己 PRの書き方		
	第14回	学生時代に力を入れたことの書き方		
	第15回	履歴書作成		
	第16回	面接対策 I		
	第17回	面接対策 II		
	第18回	総括と復習		
	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもつてくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)		

2025年度 後期

(講義)		科目名:ITテクノロジーⅡ		講師:伊東 秀幸	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のテクノロジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のテクノロジー分野に関する基本的な知識を理解し、試験に対応できる力を養う。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの重要な技術概念を把握し、日常の業務や試験問題で活用できるようにする。			
		教科書			
授業計画	授業	回数	授業 内容		
		第1回	前期の復習		
		第2回	技術要素その1 情報デザイン		
		第3回	技術要素その2 ヒューマンインタフェース		
		第4回	技術要素その3 インタフェース設計		
		第5回	技術要素その4 マルチメディア技術		
		第6回	技術要素その5 マルチメディア応用		
		第7回	技術要素その6 データベース方式		
		第8回	技術要素その7 データベース設計		
		第9回	技術要素その8 データ操作		
		第10回	技術要素その9 トランザクション処理		
		第11回	技術要素その10 ネットワーク方式		
		第12回	技術要素その11 通信プロトコル		
		第13回	技術要素その12 ネットワーク応用		
		第14回	技術要素その13 情報セキュリティ		
		第15回	技術要素その14 情報セキュリティ管理		
		第16回	技術要素その15 情報セキュリティ対策		
		第17回	技術要素その16 情報セキュリティ実装技術		
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は、1回分に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の得点を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどが優れていると、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ず持って来ること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係がない動作をしないこと。			
		以上のルールに従わない場合は、厳しく対応する（欠席として扱うこともあり、注意すること）。			

2025年度 後期

2025年度 後期

(講義)		科目名:WebサイトⅡ		講師:若林 優哉	
科目概要		この講座では、WEB集客の基本的な仕組みを理解しながら、データ分析を中心に「数字で語れるマーケター」を育成します。 アクセス解析(GA4)、広告データ(Meta/Google)、ヒートマップ、SEOレポートなどを題材に、「なぜ集客できないのか」「どの施策を改善すべきか」をデータで発見し、改善提案を導くスキルを習得します。			
学習目標		STUDIOやCanvaで作成したサイトを題材に、分析→仮説→改善→再テストというPDCA型のマーケティング実践を行い、最終的に「自分で設計し、数字で検証できるマーケター／デザイナー」を目指します。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション:データドリブンとは		
		第2回	ターゲット・カスタマージャーニー分析		
		第3回	WEB集客の全体構造とKPI設計		
		第4回	Google Analytics 4の仕組み		
		第5回	GA4の基本操作①(リアルタイム・探索)		
		第6回	STUDIOで1ページ構成を実装		
		第7回	GA4の基本操作②(コンバージョン設定)		
		第8回	SEOデータ分析(Search Console)		
		第9回	SNS分析(Instagram / X / TikTok)		
		第10回	広告データの構造理解		
		第11回	中間発表:自ブランド分析		
		第12回	LP改善のためのヒートマップ分析		
		第13回	A/Bテストの設計		
		第14回	Looker Studio(旧Data Portal)入門		
		第15回	KPIダッシュボード設計演習		
		第16回	改善提案書の作成		
		第17回	成果発表資料づくり		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	50点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	20点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

AI コミュニケーション・IT ビジネス学科

1 年生

3 組

2025年度 後期

(講義)	科目名:マーチャンダイジング		講師:岡野純司
科目概要	マーチャンダイジングの基本、販売計画、仕入計画など基礎となる内容を学んだ上で、商品管理、価格設定、物流、情報通信技術の活用など具体的なことを学ぶ。		
学習目標	市場や顧客の動向を捉え、マーチャンダイジング・サイクルを立案・実施する手法を身につけ、「リテールマーケティング検定試験(販売士)」3級合格を目指す。		
教科書			
授業計画	回数	授業内容	
	第1回	マーチャンダイジングの基本①:5つの適正と標的顧客	
	第2回	マーチャンダイジングの基本②:商品構成の基本	
	第3回	マーチャンダイジングの基本③:マーチャンダイジングサイクル	
	第4回	販売計画の基本①:販売計画とインスタ・マーチャンダイジング	
	第5回	販売計画の基本②:インスタ・プロモーションとVMD	
	第6回	仕入計画①:マーチャンダイジングと仕入計画	
	第7回	仕入計画②:発注サイクルと発注リードタイム	
	第8回	商品管理①:金額管理と数量管理、ABC分析	
	第9回	商品管理②:売れ筋・死に筋商品	
	第10回	在庫管理	
	第11回	価格設定の基本	
	第12回	平均値入額の計算	
	第13回	物流の基本	
	第14回	物流の効率化	
	第15回	POSシステム	
	第16回	バーコードとRFID	
	第17回	EDI	
	第18回	まとめ	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	40点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	20点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

2025年度 後期

(講義)		科目名:企業研究Ⅰ		講師:田辺 則人	
科目概要		企業研究Ⅰは、学生が企業や業界の動向、企業文化について、日本の社会経済の歴史・動向と合わせて理解することを目指します。このため、具体的な企業の事例や東海地域の産業の特徴についても学びます。また、企業の基本的な特徴や業界の動向、企業について調べて研究する方法を学びます。これにより、就職活動のために効果的な自己や企業の分析を行うことができる力を養うことを目的とします。なお、講義は大きく3つのステップで構成する。			
学習目標		企業や会社の構造を理解するとともに、自己分析の方法を把握する。自分の将来を想像し、それに向けて、今すべき準備を理解して就職活動を進めること。			
教科書		プリントなどを配布する			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンス:どう学ぶか		
		第2回	働くこととは、職業とは、キャリアデザインをどう描くか ※シート作業		
		第3回	社会経済と産業構造の変化		
		第4回	人口減少と少子高齢化の進行		
		第5回	人口減少・少子高齢化の捉え方 ※		
		第6回	東海地域の産業構造の特徴		
		第7回	企業とは、業界と業種、研究の視点		
		第8回	企業が示すコンセプト、経営の理念、経営戦略		
		第9回	聞く力、話す力、紹介を試みる ※		
		第10回	どんな企業や業種が有望か、中小企業の魅力		
		第11回	ユニークな経営戦略		
		第12回	経営戦略や自己分析でも有効なSWOT分析 ※		
		第13回	就職に関する支援機関や情報の活用 ※		
		第14回	キャリアデザインで求められるスキル		
		第15回	自己分析を踏まえ、どんな働き方をしたいか、どこで何を ※		
		第16回	具体的な情報収集、インターンシップなどの活用		
		第17回	どんな企業に関心があるのか、志望動機は ※		
	第18回	就職活動の準備 ※			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	文章を筆記して回答する試験。30%以上の点数を取らないと不合格		
	授業内評価	30点	講義中のシート記入の内容など(※印のうちから3回分を採点の対象とする。)		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

2025年度 後期

(講義)	科目名:WebデザインⅡ		講師:今井 克哉	
科目概要	本授業では、Web制作に必要なHTMLとCSSの基礎から応用までを学びます。基本的な文法や構造、CSSのスタイリングの習得を目指します。			
学習目標	HTMLとCSSの基本文法を理解し、正確にコーディングできるようになる。 Webページのレイアウトやデザインを適切に構築できるようになる。			
教科書				
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	学習の目的、到達目標	
		第2回	Webサイトの基礎知識、エディタの使い方	
		第3回	HTMLの基礎、HTML5の特徴、Webデザインの基礎知識	
		第4回	HTMLの記述方法、HTMLの記述(body、ヘッダー)	
		第5回	HTMLの記述(ナビゲーション、パンくずリスト、コンテンツ)	
		第6回	HTMLの記述(バナー設置とリンク、フッター)	
		第7回	CSSの基礎、セレクター、CSSの使用	
		第8回	外部CSSの読み込み、共通CSS記述、色指定	
		第9回	ボックスモデル	
		第10回	ナビゲーションレイアウト、2カラムレイアウト	
		第11回	メイン領域CSS、疑似クラスロールオーバー、id、ハイライト	
		第12回	タイトル変更、スライドショー組み込み、HTML編集	
		第13回	CSS編集、スマートフォン対応(メディアクエリ、レスポンシブ)	
		第14回	コンセプトページの作成	
		第15回	テーブルとスタイル	
		第16回	ギャラリーレイアウト	
		第17回	前期まとめ演習	
	第18回	試験対策		
	試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授業内評価	30点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。		

2025年度 後期

(講義)		科目名:オフィスソフトⅡ		講師:高橋 直子	
科目概要		この科目では、Microsoft Excel(表計算)の基本操作を学びます。簡単な計算、関数、グラフおよび表を作成します。初心者レベルを対象としており、実践的な演習を通じてスキルの定着を目指します。			
学習目標		Microsoft Excelの基本的な操作を理解し、実践できるようになる。 関数や数式を活用し、効果的なデータ処理ができる。 グラフを使ってデータを視覚的に表現できる。			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	Excelの基本操作		
		第2回	データ入力と書式設定		
		第3回	基本的な計算		
		第4回	関数の基礎①(合計など)		
		第5回	関数の基礎②(平均・最大・最小など)		
		第6回	ここまでの復習		
		第7回	割合と絶対参照について		
		第8回	グラフの作成		
		第9回	グラフの作成の復習		
		第10回	関数の応用①(条件:IF関数)		
		第11回	関数の応用②(個数を求める)		
		第12回	ここまでの復習		
		第13回	作表の応用		
		第14回	総復習①		
		第15回	総復習②		
		第16回	総復習③		
		第17回	総復習④		
	第18回	試験対策			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

2025年度 後期

(講義)		科目名:キャリアデザインⅡ		講師:姜 美松	
科目概要		キャリアデザインⅡは、就職など各自のキャリア形成につながる学習を行う。まずは就職に向けての日本語能力の向上を目指し学習を行う。また、学生が自らのキャリアを具体的に計画し、実施に移すための知識とスキルを学ぶ。本科目は、自己分析をさらに深め、自身の特長や価値観を明確化するとともに、就職活動やキャリア形成に必要な実践的なスキルを養う。			
学習目標		学生が自身のキャリアについて深く理解し、将来のキャリア形成に向けた実践的な能力を身につけることを目指す。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーションと目標設定		
		第2回	キャリアにおける日本語能力の向上(1)		
		第3回	キャリアにおける日本語能力の向上(2)		
		第4回	キャリアにおける日本語能力の向上(3)		
		第5回	キャリアにおける日本語能力の向上(4)		
		第6回	キャリアにおける日本語能力の向上(5)		
		第7回	就職活動の流れ		
		第8回	自己分析(1)		
		第9回	自己分析(2)		
		第10回	キャリア目標の設定(1)		
		第11回	キャリア目標の設定(2)		
		第12回	業界・企業研究の方法(1)		
		第13回	業界・企業研究の方法(2)		
		第14回	履歴書の作成と注意点(1)		
		第15回	履歴書の作成と注意点(2)		
		第16回	面接の基本とマナー(1)		
		第17回	面接の基本とマナー(2)		
	第18回	まとめ			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもつてくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

(講義)		科目名:IT ストラテジー II		講師:深谷高史	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験である。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測るものである。本講義は、ITパスポート試験の合格を目的とした科目であり、出題範囲の中のストラテジー系の知識を中心に展開する。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は、税理士として自らが代表を務める税理士事務所と顧問先企業のIT利活用を推進し、各種情報系試験の資格を持つ講師が担当する。			
学習目標		ITパスポート試験のストラテジー分野に関する知識を理解し、実務や試験に役に立つ基礎を身につける。経営戦略などに関する重要な概念を把握し、実践力を養う。			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	前期の復習		
		第2回	経営戦略に関する重要用語		
		第3回	事業戦略と経営管理システム		
		第4回	技術開発戦略の立案・技術開発計画		
		第5回	ビジネスシステム		
		第6回	エンジニアリングシステム		
		第7回	生産管理の計算問題		
		第8回	e-ビジネス		
		第9回	IoTシステム・組込みシステム		
		第10回	情報システム戦略		
		第11回	業務プロセス		
		第12回	業務プロセスを改善する方法		
		第13回	ソリューションビジネス		
		第14回	システムの活用促進と評価		
		第15回	システム企画		
		第16回	企画プロセスと要件定義プロセス		
		第17回	調達計画・実施		
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席・居眠りをしないこと			
		②筆記具を必ずもってくること			
		③指定された座席で受講し、講師の指示に従うこと			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。スマートフォンはカバンの中に入れること			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

2025年度 後期		(講義)		科目名:人間関係の心理学Ⅱ		講師: 木村 洋太	
科目概要		本科目では、前期に引き続き、のおける心理的メカニズムについて学習します。特に、対人援助のためのコミュニケーションを学びます。そのため、まずは学校でも職場でも頻繁に問題となる様々な心の病気や、発達上の問題について理解を深めます。その上で、どのように対応するのか、どのようなコミュニケーションが援助にとって有用なのか考えます					
学習目標		・人間関係に関する基礎的な心理学理論を理解し、説明することができる ・現代社会で特に問題となる心の病気や発達の障害について、正しい理解をする ・職場や学校等様々な場面での対人関係の課題について、適切なかわり方を知る					
				プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容				
		第1回	発達障害とは何か				
		第2回	LDの理解と対応				
		第3回	LDによる2次障害				
		第4回	ASDの理解1(自閉スペクトラム症)				
		第5回	ASDの理解2(自閉スペクトラム症)				
		第6回	ASDの実際(ドキュメンタリー視聴)				
		第7回	ADHDの理解と対応				
		第8回	ADHDの実際				
		第9回	きつ音の理解と対応				
		第10回	チック・トゥレットの理解と対応				
		第11回	中間テスト				
		第12回	IL1(知的障害の理解と対応)				
		第13回	IL2(知的障害の理解と対応)				
		第14回	適応障害・うつ病の理解と対応				
		第15回	境界性 人格障害				
		第16回	記憶障害				
		第17回	カウンセリングマインド				
	第18回	期末試験の準備					
	成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。			
期 末 試 験		52点	中間テストと期末テスト、2回のテストを行います。				
授 業 内 評 価		18点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。				
備考				①遅刻・欠席をしないこと。			
				②筆記具を必ずもつてくること。			
				③指定された座席で受講すること。			
				④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
				以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

科目名:IT テクノロジーⅡ			講師:室山 俊浩
科目概要	ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のテクノロジー系の知識を中心に展開します。		
学習目標	ITパスポート試験のテクノロジー分野に関する基本的な知識を理解し、試験に対応できる力を養う。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの重要な技術概念を把握し、日常の業務や試験問題で活用できるようにする。		
教科書			
授業計画	授業	回数	授業内容
		第1回	前期の復習
		第2回	技術要素その1 情報デザイン
		第3回	技術要素その2 ヒューマンインタフェース
		第4回	技術要素その3 インタフェース設計
		第5回	技術要素その4 マルチメディア技術
		第6回	技術要素その5 マルチメディア応用
		第7回	技術要素その6 データベース方式
		第8回	技術要素その7 データベース設計
		第9回	技術要素その8 データ操作
		第10回	技術要素その9 トランザクション処理
		第11回	技術要素その10 ネットワーク方式
		第12回	技術要素その11 通信プロトコル
		第13回	技術要素その12 ネットワーク応用
		第14回	技術要素その13 情報セキュリティ
		第15回	技術要素その14 情報セキュリティ管理
		第16回	技術要素その15 情報セキュリティ対策
		第17回	技術要素その16 情報セキュリティ実装技術
		第18回	まとめ、試験対策
	試験	第19回	期末試験
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。	

2025年度 後期

2025年度 後期					
(講義)		科目名:WebサイトⅡ		講師:若林 優哉	
科目概要		この講座では、WEB集客の基本的な仕組みを理解しながら、データ分析を中心に「数字で語れるマーケター」を育成します。 アクセス解析(GA4)、広告データ(Meta／Google)、ヒートマップ、SEOレポートなどを題材に、「なぜ集客できないのか」「どの施策を改善すべきか」をデータで発見し、改善提案を導くスキルを習得します。			
学習目標		STUDIOやCanvaで作成したサイトを題材に、分析→仮説→改善→再テストというPDCA型のマーケティング実践を行い、最終的に「自分で設計し、数字で検証できるマーケター／デザイナー」を目指します。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション:データドリブンとは		
		第2回	ターゲット・カスタマージャーニー分析		
		第3回	WEB集客の全体構造とKPI設計		
		第4回	Google Analytics 4の仕組み		
		第5回	GA4の基本操作①(リアルタイム・探索)		
		第6回	STUDIOで1ページ構成を実装		
		第7回	GA4の基本操作②(コンバージョン設定)		
		第8回	SEOデータ分析(Search Console)		
		第9回	SNS分析(Instagram / X / TikTok)		
		第10回	広告データの構造理解		
		第11回	中間発表:自ブランド分析		
		第12回	LP改善のためのヒートマップ分析		
		第13回	A/Bテストの設計		
		第14回	Looker Studio(旧Data Portal)入門		
		第15回	KPIダッシュボード設計演習		
		第16回	改善提案書の作成		
		第17回	成果発表資料づくり		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	50点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	20点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもつてくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

2025年度 後期					
(講義)		科目名:AI活用法Ⅱ		講師:西野公啓	
科目概要		当校が利用するGoogle Workspaceを活用し、Geminiを学習します。Geminiを理解すると同時にGoogleサービスと連携することにより、Geminiが他の生成AIと違い如何に便利で可能性があるのかを学習します。			
学習目標		主要なGoogleサービスを理解し、Geminiを使いこなすことで、GeminiとGoogleサービスを連携させると何が出来るのかを理解できるようにする。			
			プリントなど配布します。		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション:Geminiの基本		
		第2回	Geminiによる文章生成		
		第3回	Geminiによるアイデア創出		
		第4回	Geminiによる情報収集・データ分析		
		第5回	Google Workspaceの基本		
		第6回	GmailとGemini		
		第7回	Google Meetの利用法		
		第8回	Google チャットの利用法		
		第9回	GoogleカレンダーとToDoリスト		
		第10回	Googleドライブの利用法		
		第11回	GoogleドキュメントとGemini		
		第12回	GoogleスプレッドシートとGemini		
		第13回	GoogleスライドとGemini		
		第14回	Googleフォームの利用法		
		第15回	Google Keepの利用法		
		第16回	Googleサイトの基本		
		第17回	試験対策(1)		
	第18回	試験対策(2)			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考			①遅刻・欠席をしないこと。		
			②筆記具を必ずもつてくること。		
			③指定された座席で受講すること。		
			④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
			以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。		

2025年度 後期

2025年度 後期			
(講義)	科目名：SNS II		講師：若林 優哉
科目概要	この講座では、スマホ動画編集アプリ「CapCut」を中心に、企画・撮影・編集・投稿・分析の一連の流れを通じて、SNS動画制作の実践スキルを身につけます。		
学習目標	短尺動画（ショート・リール・TikTok）を題材に、2025年の最新トレンドである「縦型動画」「自然体コンテンツ」「UGC」「AI字幕」「音源トレンド」などを取り入れ、企画できて、作れて、数字を読める”クリエイターを育成します。		
教科書			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容
		第1回	オリエンテーション／動画の力を知る
		第2回	縦型動画の構造と設計
		第3回	CapCutの基本操作①
		第4回	CapCutの基本操作②
		第5回	構成とストーリーボード演習
		第6回	撮影実習①（スマホ撮影基礎）
		第7回	テロップ・BGM・音声編集
		第8回	効果音・トランジション演出
		第9回	中間発表（1本目動画）
		第10回	トレンド音源とリズム編集
		第11回	AI自動字幕／AIナレーション
		第12回	テンプレート活用とブランド化
		第13回	UGC×自然体動画の演出
		第14回	SNS投稿とパフォーマンス分析
		第15回	改善演習：データからの再編集
		第16回	動画広告・リール活用応用
		第17回	最終発表・講評
	試験	第18回	試験対策
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期 末 試 験	50点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授 業 内 評 価	20点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもつてくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。	

2025年度 後期

(講義)		科目名：画像・動画編集Ⅱ	講師：若林 優哉
科目概要	この講座では、スマホ動画編集アプリ「CapCut」を中心に、企画・撮影・編集・投稿・分析の一連の流れを通じて、SNS動画制作の実践スキルを身につけます。		
学習目標	短尺動画（ショート・リール・TikTok）を題材に、2025年の最新トレンドである「縦型動画」「自然体コンテンツ」「UGC」「AI字幕」「音源トレンド」などを取り入れ、企画できて、作れて、数字を読める”クリエイターを育成します。		
教科書			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容
		第1回	オリエンテーション／バナーの役割とは
		第2回	デザインの4原則と構図設計
		第3回	配色理論とフォント選定
		第4回	Canva操作応用／画像サイズと比率
		第5回	Instagram向けデザイン①（投稿）
		第6回	Instagram向けデザイン②（ストーリーズ）
		第7回	X（旧Twitter）用デザイン
		第8回	TikTok／リール動画サムネ制作
		第9回	LINE広告・カルーセル広告
		第10回	Web用ヘッダー・GDN広告バナー
		第11回	CTA（行動喚起）コピーと配置演習
		第12回	AIツール活用（Canva Magic Studio）
		第13回	ブランド別トーン統一演習
		第14回	A/Bテストを意識したデザイン改善
		第15回	SNSキャンペーン素材制作
		第16回	プレゼン資料作成（Canva+Figma）
		第17回	最終発表・講評
		第18回	試験対策
	試験	第19回	期末試験
成績評価	出席率	30点	
	期 末 試 験	50点	
	授 業 内 評 価	20点	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるの	

AI コミュニケーション・IT ビジネス学科

1 年生

4 組

2025年度 後期

(講義)		科目名:企業研究Ⅰ		講師:田辺 則人	
科目概要		企業研究Ⅰは、学生が企業や業界の動向、企業文化について、日本の社会経済の歴史・動向と合わせて理解することを目指します。このため、具体的な企業の事例や東海地域の産業の特徴についても学びます。また、企業の基本的な特徴や業界の動向、企業について調べて研究する方法を学びます。これにより、就職活動のために効果的な自己や企業の分析を行うことができる力を養うことを目的とします。なお、講義は大きく3つのステップで構成する。			
学習目標		企業や会社の構造を理解するとともに、自己分析の方法を把握する。自分の将来を想像し、それに向けて、今すべき準備を理解して就職活動を進めること。			
教科書		プリントなどを配布する			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンス:どう学ぶか		
		第2回	働くこととは、職業とは、キャリアデザインをどう描くか ※シート作業		
		第3回	社会経済と産業構造の変化		
		第4回	人口減少と少子高齢化の進行		
		第5回	人口減少・少子高齢化の捉え方 ※		
		第6回	東海地域の産業構造の特徴		
		第7回	企業とは、業界と業種、研究の視点		
		第8回	企業が示すコンセプト、経営の理念、経営戦略		
		第9回	聞く力、話す力、紹介を試みる ※		
		第10回	どんな企業や業種が有望か、中小企業の魅力		
		第11回	ユニークな経営戦略		
		第12回	経営戦略や自己分析でも有効なSWOT分析 ※		
		第13回	就職に関する支援機関や情報の活用 ※		
		第14回	キャリアデザインで求められるスキル		
		第15回	自己分析を踏まえ、どんな働き方をしたいか、どこで何を ※		
		第16回	具体的な情報収集、インターンシップなどの活用		
		第17回	どんな企業に関心があるのか、志望動機は ※		
	第18回	就職活動の準備 ※			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	文章を筆記して回答する試験。30%以上の点数を取らないと不合格		
	授業内評価	30点	講義中のシート記入の内容など(※印のうちから3回分を採点の対象とする。)		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

(講義)	科目名:マーチャンダイジング		講師:岡野純司
科目概要	マーチャンダイジングの基本、販売計画、仕入計画など基礎となる内容を学んだ上で、商品管理、価格設定、物流、情報通信技術の活用など具体的なことを学ぶ。		
学習目標	市場や顧客の動向を捉え、マーチャンダイジング・サイクルを立案・実施する手法を身につけ、「リテールマーケティング検定試験(販売士)」3級合格を目指す。		
教科書			
授業計画	回数	授業内容	
	第1回	マーチャンダイジングの基本①:5つの適正と標的顧客	
	第2回	マーチャンダイジングの基本②:商品構成の基本	
	第3回	マーチャンダイジングの基本③:マーチャンダイジングサイクル	
	第4回	販売計画の基本①:販売計画とインスタ・マーチャンダイジング	
	第5回	販売計画の基本②:インスタ・プロモーションとVMD	
	第6回	仕入計画①:マーチャンダイジングと仕入計画	
	第7回	仕入計画②:発注サイクルと発注リードタイム	
	第8回	商品管理①:金額管理と数量管理、ABC分析	
	第9回	商品管理②:売れ筋・死に筋商品	
	第10回	在庫管理	
	第11回	価格設定の基本	
	第12回	平均値入額の計算	
	第13回	物流の基本	
	第14回	物流の効率化	
	第15回	POSシステム	
	第16回	バーコードとRFID	
	第17回	EDI	
	第18回	まとめ	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	40点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	20点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

2025年度 後期

2025年度 後期					
(講義)		科目名：SNS II		講師：若林 優哉	
科目概要		この講座では、スマホ動画編集アプリ「CapCut」を中心に、企画・撮影・編集・投稿・分析の一連の流れを通じて、SNS動画制作の実践スキルを身につけます。			
学習目標		短尺動画（ショート・リール・TikTok）を題材に、2025年の最新トレンドである「縦型動画」「自然体コンテンツ」「UGC」「AI字幕」「音源トレンド」などを取り入れ、企画できて、作れて、数字を読める”クリエイターを育成します。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション／動画の力を知る		
		第2回	縦型動画の構造と設計		
		第3回	CapCutの基本操作①		
		第4回	CapCutの基本操作②		
		第5回	構成とストーリーボード演習		
		第6回	撮影実習①（スマホ撮影基礎）		
		第7回	テロップ・BGM・音声編集		
		第8回	効果音・トランジション演出		
		第9回	中間発表（1本目動画）		
		第10回	トレンド音源とリズム編集		
		第11回	AI自動字幕／AIナレーション		
		第12回	テンプレート活用とブランド化		
		第13回	UGC×自然体動画の演出		
		第14回	SNS投稿とパフォーマンス分析		
		第15回	改善演習：データからの再編集		
		第16回	動画広告・リール活用応用		
		第17回	最終発表・講評		
	第18回	試験対策			
	成績評価	試験	第19回	期末試験	
出席率			30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
期末試験			50点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
備考	授業内評価	20点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
	①遅刻・欠席をしないこと。				
	②筆記具を必ずもって来ること。				
③指定された座席で受講すること。					
④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。					
以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。					

2025年度 後期

(講義)		科目名：画像・動画編集Ⅱ	講師：若林 優哉
科目概要	この講座では、スマホ動画編集アプリ「CapCut」を中心に、企画・撮影・編集・投稿・分析の一連の流れを通じて、SNS動画制作の実践スキルを身につけます。		
学習目標	短尺動画（ショート・リール・TikTok）を題材に、2025年の最新トレンドである「縦型動画」「自然体コンテンツ」「UGC」「AI字幕」「音源トレンド」などを取り入れ、企画できて、作れて、数字を読める”クリエイターを育成します。		
教科書			
授業計画	授業	回数	授業内容
		第1回	オリエンテーション／バナーの役割とは
		第2回	デザインの4原則と構図設計
		第3回	配色理論とフォント選定
		第4回	Canva操作応用／画像サイズと比率
		第5回	Instagram向けデザイン①（投稿）
		第6回	Instagram向けデザイン②（ストーリーズ）
		第7回	X（旧Twitter）用デザイン
		第8回	TikTok／リール動画サムネ制作
		第9回	LINE広告・カルーセル広告
		第10回	Web用ヘッダー・GDN広告バナー
		第11回	CTA（行動喚起）コピーと配置演習
		第12回	AIツール活用（Canva Magic Studio）
		第13回	ブランド別トーン統一演習
		第14回	A/Bテストを意識したデザイン改善
		第15回	SNSキャンペーン素材制作
		第16回	プレゼン資料作成（Canva＋Figma）
		第17回	最終発表・講評
		第18回	試験対策
	試験	第19回	期末試験
成績評価	出席率	30点	
	期末試験	50点	
	授業内評価	20点	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるの	

2025年度 後期

2025年度 後期

(講義)	科目名:Webデザイン I (4組)			講師:今井 克哉
科目概要	本授業では、Web制作に必要なHTMLとCSSの基礎から応用までを学びます。基本的な文法や構造、CSSのスタイリングの習得を目指します。			
学習目標	HTMLとCSSの基本文法を理解し、正確にコーディングできるようになる。 Webページのレイアウトやデザインを適切に構築できるようになる。			
教科書				
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	ガイダンスとWebの仕組み	
		第2回	HTMLの基本構造	
		第3回	テキスト要素と見出しの使い方	
		第4回	リストとリンクの作成	
		第5回	画像とメディアの挿入	
		第6回	表の作成	
		第7回	フォーム作成の基本	
		第8回	CSSの基本	
		第9回	テキストスタイリング	
		第10回	ボックスモデルの理解	
		第11回	背景デザインと色彩の設定	
		第12回	基本レイアウト(フロートを使用したレイアウト)	
		第13回	フレックスボックスの導入	
		第14回	簡単なWebページ制作演習	
		第15回	HTML5の新しい要素	
		第16回	モジュール化とCSSの再利用性	
		第17回	前期まとめ演習	
	第18回	試験対策		
	試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授業内評価	30点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。		

2025年度 後期

2025年度 後期					
(講義)		科目名:人間関係の心理学Ⅱ			講師: 木村 洋太
科目概要		本科目では、前期に引き続き、のおける心理的メカニズムについて学習します。特に、対人援助のためのコミュニケーションを学びます。そのため、まずは学校でも職場でも頻繁に問題となる様々な心の病気や、発達上の問題について理解を深めます。その上で、どのように対応するのか、どのようなコミュニケーションが援助にとって有用なのか考えます			
学習目標		・人間関係に関する基礎的な心理学理論を理解し、説明することができる ・現代社会で特に問題となる心の病気や発達の障害について、正しい理解をする ・職場や学校等様々な場面での対人関係の課題について、適切なかかわり方を知る			
		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	発達障害とは何か		
		第2回	LDの理解と対応		
		第3回	LDによる2次障害		
		第4回	ASDの理解1(自閉スペクトラム症)		
		第5回	ASDの理解2(自閉スペクトラム症)		
		第6回	ASDの実際(ドキュメンタリー視聴)		
		第7回	ADHDの理解と対応		
		第8回	ADHDの実際		
		第9回	きつ音の理解と対応		
		第10回	チック・トゥレットの理解と対応		
		第11回	中間テスト		
		第12回	IL1(知的障害の理解と対応)		
		第13回	IL2(知的障害の理解と対応)		
		第14回	適応障害・うつ病の理解と対応		
		第15回	境界性 人格障害		
		第16回	記憶障害		
		第17回	カウンセリングマインド		
	第18回	期末試験の準備			
		試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	52点	中間テストと期末テスト、2回のテストを行います。		
	授 業 内 評 価	18点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

(講義)	科目名:IT ストラテジー II		講師:深谷高史
科目概要	ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験である。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測るものである。本講義は、ITパスポート試験の合格を目的とした科目であり、出題範囲の中のストラテジー系の知識を中心に展開する。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は、税理士として自らが代表を務める税理士事務所と顧問先企業のIT利活用を推進し、各種情報系試験の資格を持つ講師が担当する。		
学習目標	ITパスポート試験のストラテジー分野に関する知識を理解し、実務や試験に役に立つ基礎を身につける。経営戦略などに関する重要な概念を把握し、実践力を養う。		
教科書		プリントなどを配布します。	
授業計画	授業	回数	授 業 内 容
		第1回	前期の復習
		第2回	経営戦略に関する重要用語
		第3回	事業戦略と経営管理システム
		第4回	技術開発戦略の立案・技術開発計画
		第5回	ビジネスシステム
		第6回	エンジニアリングシステム
		第7回	生産管理の計算問題
		第8回	e-ビジネス
		第9回	IoTシステム・組込みシステム
		第10回	情報システム戦略
		第11回	業務プロセス
		第12回	業務プロセスを改善する方法
		第13回	ソリューションビジネス
		第14回	システムの活用促進と評価
		第15回	システム企画
		第16回	企画プロセスと要件定義プロセス
		第17回	調達計画・実施
		第18回	まとめ、試験対策
	試験	第19回	期末試験
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席・居眠りをしないこと	
		②筆記具を必ずもってくること	
		③指定された座席で受講し、講師の指示に従うこと	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。スマートフォンはカバンの中に入れること	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。	

2025年度 後期

2025年度 後期

(講義)	科目名:WebサイトⅡ		講師:若林 優哉	
科目概要	この講座では、WEB集客の基本的な仕組みを理解しながら、データ分析を中心に「数字で語れるマーケター」を育成します。 アクセス解析(GA4)、広告データ(Meta/Google)、ヒートマップ、SEOレポートなどを題材に、「なぜ集客できないのか」「どの施策を改善すべきか」をデータで発見し、改善提案を導くスキルを習得します。			
学習目標	STUDIOやCanvaで作成したサイトを題材に、分析→仮説→改善→再テストというPDCA型のマーケティング実践を行い、最終的に「自分で設計し、数字で検証できるマーケター/デザイナー」を目指します。			
教科書				
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	オリエンテーション:データドリブンとは	
		第2回	ターゲット・カスタマージャーニー分析	
		第3回	WEB集客の全体構造とKPI設計	
		第4回	Google Analytics 4の仕組み	
		第5回	GA4の基本操作①(リアルタイム・探索)	
		第6回	STUDIOで1ページ構成を実装	
		第7回	GA4の基本操作②(コンバージョン設定)	
		第8回	SEOデータ分析(Search Console)	
		第9回	SNS分析(Instagram / X / TikTok)	
		第10回	広告データの構造理解	
		第11回	中間発表:自ブランド分析	
		第12回	LP改善のためのヒートマップ分析	
		第13回	A/Bテストの設計	
		第14回	Looker Studio(旧Data Portal)入門	
		第15回	KPIダッシュボード設計演習	
		第16回	改善提案書の作成	
		第17回	成果発表資料づくり	
	第18回	試験対策		
	試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期末試験	50点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授業内評価	20点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。		

2025年度 後期

(講義)		科目名:キャリアデザインⅡ		講師:仁井田 和也	
科目概要		キャリアデザインⅡでは、就職など、各自のキャリア形成につながるための学習や実践を行います。タスク型授業で、実際に就職などにつながる実践を行いながら、キャリア形成を学んでいきます。			
学習目標		学生が自身のキャリアについて深く理解し、将来のキャリア形成に向けた実践的な能力を身につけることを目指します。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーションと目標設定		
		第2回	秋冬インターンに向けて		
		第3回	合同説明会に申し込む		
		第4回	ビッグファイブ分析で自己分析をする		
		第5回	Webテスト対策(1)		
		第6回	Webテスト対策(2)		
		第7回	Webテスト対策(3)		
		第8回	地元就職サイトを活用する(1)		
		第9回	地元就職サイトを活用する(2)		
		第10回	就活アプリを活用する(1)		
		第11回	就活アプリを活用する(2)		
		第12回	就活アプリを活用する(3)		
		第13回	就活アプリを活用する(4)		
		第14回	就活アプリを活用する(5)		
		第15回	秋冬インターンに向けて(2)		
		第16回	秋冬インターンに向けて(3)		
		第18回	秋冬インターンに向けて(4)		
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

2025年度 後期

(講義)		科目名:オフィスソフトⅡ(4組)		講師:高橋 直子	
科目概要		この科目では、Microsoft Excel(表計算)の基本操作を学びます。簡単な計算、関数、グラフおよび表を作成します。初心者レベルを対象としており、実践的な演習を通じてスキルの定着を目指します。			
学習目標		Microsoft Excelの基本的な操作を理解し、実践できるようになる。 関数や数式を活用し、効果的なデータ処理ができる。 グラフを使ってデータを視覚的に表現できる。			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	基本的な操作(計算・合計・表作成)		
		第2回	グラフの作成		
		第3回	絶対参照		
		第4回	IF関数		
		第5回	順位(RANK.EQ関数)		
		第6回	件数(COUNTA関数)と作表機能		
		第7回	端数処理(ROUND関数・ROUNDUP関数・ROUNDDOWN関数)		
		第8回	複数条件1 (IF関数とIF関数)		
		第9回	複数条件2 (AND関数・OR関数)		
		第10回	表検索(VLOOKUP関数)		
		第11回	並び替え		
		第12回	関数の組み合わせ		
		第13回	総復習①		
		第14回	総復習②		
		第15回	総復習③		
		第16回	総復習④		
		第17回	総復習⑤		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくこと。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

2025年度 後期				講師:西野公啓	
(講義)		科目名:AI活用法Ⅱ			
科目概要		当校が利用するGoogle Workspaceを活用し、Geminiを学習します。Geminiを理解すると同時にGoogle サービスと連携することにより、Geminiが他の生成AIと違い如何に便利で可能性があるのかを学習します。			
学習目標		主要なGoogleサービスを理解し、Geminiを使いこなすことで、GeminiとGoogleサービスを連携させると何が出来るのかを理解できるようにする。			
		プリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション: Geminiの基本		
		第2回	Geminiによる文章生成		
		第3回	Geminiによるアイデア創出		
		第4回	Geminiによる情報収集・データ分析		
		第5回	Google Workspaceの基本		
		第6回	GmailとGemini		
		第7回	Google Meetの利用法		
		第8回	Google チャットの利用法		
		第9回	GoogleカレンダーとToDoリスト		
		第10回	Googleドライブの利用法		
		第11回	GoogleドキュメントとGemini		
		第12回	GoogleスプレッドシートとGemini		
		第13回	GoogleスライドとGemini		
		第14回	Googleフォームの利用法		
		第15回	Google Keepの利用法		
		第16回	Googleサイトの基本		
			第17回	試験対策(1)	
		第18回	試験対策(2)		
		試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 後期

2025年度 後期					
(講義)		科目名:ITテクノロジーⅡ		講師:伊東 秀幸	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のテクノロジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のテクノロジー分野に関する基本的な知識を理解し、試験に対応できる力を養う。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの重要な技術概念を把握し、日常の業務や試験問題で活用できるようにする。			
		教科書			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	前期の復習		
		第2回	技術要素その1 情報デザイン		
		第3回	技術要素その2 ヒューマンインタフェース		
		第4回	技術要素その3 インタフェース設計		
		第5回	技術要素その4 マルチメディア技術		
		第6回	技術要素その5 マルチメディア応用		
		第7回	技術要素その6 データベース方式		
		第8回	技術要素その7 データベース設計		
		第9回	技術要素その8 データ操作		
		第10回	技術要素その9 トランザクション処理		
		第11回	技術要素その10 ネットワーク方式		
		第12回	技術要素その11 通信プロトコル		
		第13回	技術要素その12 ネットワーク応用		
		第14回	技術要素その13 情報セキュリティ		
		第15回	技術要素その14 情報セキュリティ管理		
		第16回	技術要素その15 情報セキュリティ対策		
		第17回	技術要素その16 情報セキュリティ実装技術		
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は、1回分に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の得点を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどが優れていると、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ず持って来ること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係がない動作をしないこと。			
		以上のルールに従わない場合は、厳しく対応する（欠席として扱うこともあり、注意すること）。			